

安全で住みよい  
まちづくり

ニュース

防災交通課  
(内208)

# 防災への意識改革 66

## 緊急地震速報を見たり聞いたりしたら

気象庁は「緊急地震速報」の一般向け提供を十月一日から開始する予定です。

「緊急地震速報」とは、気象庁が地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえたP波の観測データを解析し、震源や地震の規模を直ちに推測して、各地でのS波の到達時間や震度を推定し、IT技術を活用して可能な限り素早く知らせる情報です。

この「緊急地震速報」を見たり聞いたりしたら、どのように行動すればよいか、家庭の場合について紹介

します。

強い揺れまでの猶予時間は数秒から数十秒

「緊急地震速報」のお知らせから強い揺れが起こるまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。内陸の浅い地震など震源の近くでは、強い揺れが先に到達する場合があります。では、どうするの？

基本行動は、周囲の状況に応じて慌てず、まず身の安全を確保することです。家庭内では自身の身を守るのが最優先です。家具の移動や転倒から身を守るため、頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れることが一番です。ほとんどの場合、揺れがすぐに起こりますので、外に飛び出すことはかえって危険です。

「緊急地震速報」を見たり聞いたりしてからでは、どうするかを考えることは、ほぼ不可能です。部屋の中で安全な場所を再確認し、家族で話し合っておくことが大切です。

参考 気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

# 雨の中、消防団員奮闘

## 第30回阿久比町消防団 消防操法大会開かれる

第三十回阿久比町消防団消防操法大会が、六月二十四日阿久比スポーツ駐車場で行われました。

大会では町内五分団の中から各二チームが参加して、一チーム五人で小型ポンプ操法のホース延長時間や操作の技量などを競いました。

雨降り以最悪のコンディションの中、団員らは日ごろの練習の成果を発揮して、全力で競技に臨んでいました。



放水を行う団員



ホース延長を行う団員

大会結果は次のとおりです。

(敬称略)

- 【優勝】第三分団一号車
- 【準優勝】第三分団二号車
- 【第三位】第四分団一号車
- 【敢闘賞】指揮者 第二分団二号車 榊原伸洋、一番員 第五分団二号車 竹内裕貴、二番員 第一分団二号車 水野慎一、三番員 第四分団二号車 新海武久